

ご担当者各位

2018年12月20日



機械式シート敷設工法を管理型海面処分場の遮水シートに初適用

東洋建設株式会社（代表取締役社長 武澤恭司）は、機械式シート敷設工法による遮水シート敷設作業を、管理型海面処分場に初めて適用しました。

今回の工事では、まず陸上ヤードにおいて遮水シートとその両面に配置される保護マットで構成される三重構造の原反（幅 2m×長さ 50m）を幅 21mまで幅広加工を行ない、直径 900 mmの鋼管軸に巻き取りました。その巻き取った約 1,000 m²の遮水シートを起重機船上に設置した機械式シート敷設機に取り付け、護岸上でシート端部を固定した後に鋼管軸を回転させて送り出しながら敷設しました。

従来工法では、上記工程がすべて海上での作業であり、荒天休止による工程遅延が発生することも多く、また幅広加工したシートの曳航中や長期間の浮遊中にしわの発生や荒天時には流出するおそれがあります。

本工法を初採用した「県単常臨第 27-06-078-Z-001 号・県単常整第 27-06-079-Z-001 号（合併）次期処分場護岸築造工事（既設その 2）（発注者：茨城県）」においては、海象の影響がない陸上で原反の幅広加工を行なったこと及び海面での浮遊期間を短縮したことにより、従来工法に比べて一週間程度工期が短縮しました。また、端部の固定による出来形確保、シート損傷リスク軽減による品質確保といった効果も確認できました。

今回の実績は、機械式シート敷設工法が管理型海面処分場における遮水シート工の工期短縮と安全性・生産性の向上、品質確保に寄与する工法であることを示すものであり、今後の同種工事で一層の活用が期待できます。

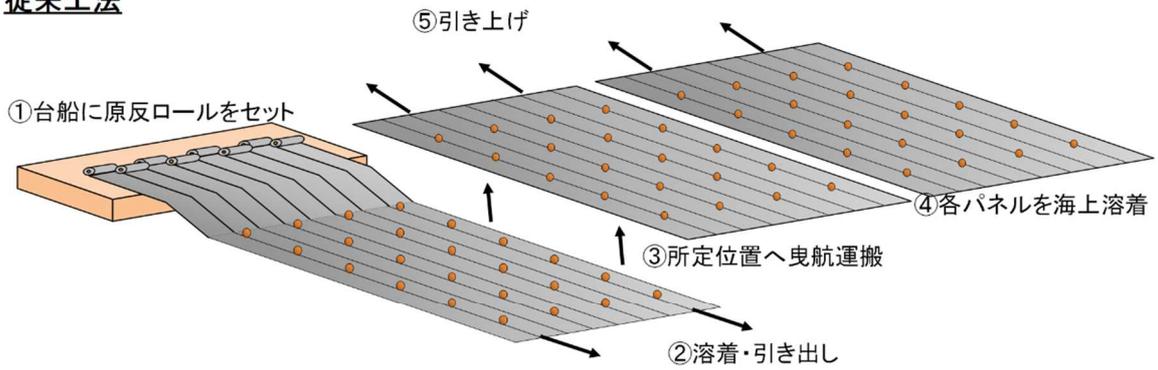
当社は、これからも処分場分野の施工技術を拡充し、大型工事の工期短縮、品質向上を目指してまいります。

以上

（問合せ先）

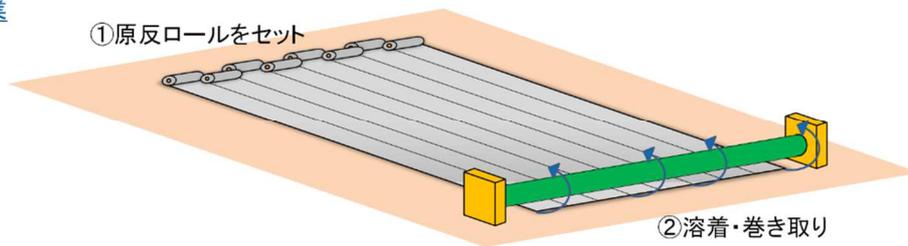
東洋建設株式会社
土木事業本部技術営業部
電話 03-6361-5463

従来工法

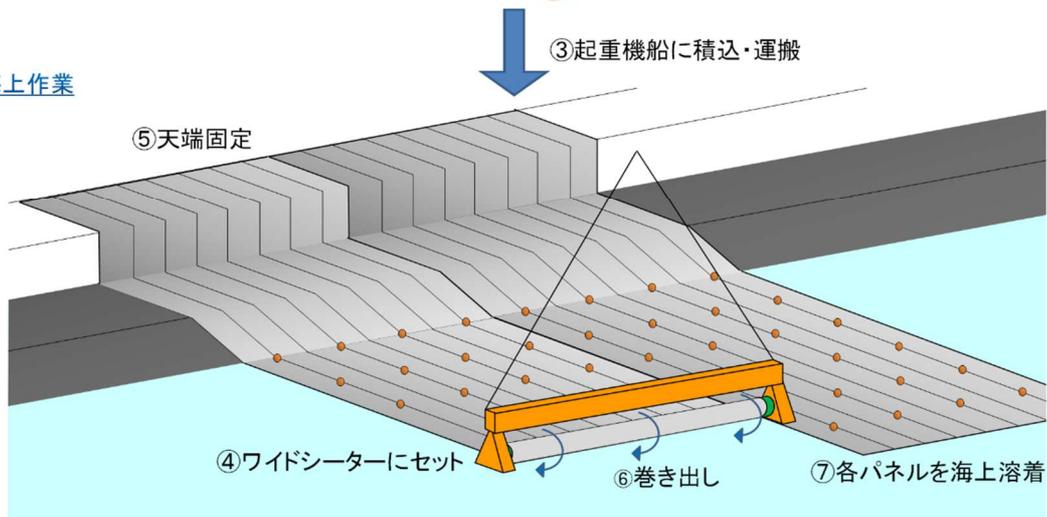


機械式シート工法

陸上作業



海上作業



機械式シート敷設工法の施工手順



陸上でのシートの溶着状況



海面処分場でのシート巻き出し状況